

# 大宮区でピンクリボン・ライトアップ

## 乳がん撲滅訴え

28日午後6時すぎ、さいたま市大宮区の大宮ソニックシティの壁面にピンクリボンが映し出された。検診による早期発見、早期治療により乳がん撲滅を訴えるピンクリボン運動のフィナーレを飾るイベントで、今年で5回目。冷たい雨の中、道行く人は足を止め、夜空に浮かんだピンクリボンを見上げていた。同ビル地下のホールで行われ

た点灯式典には、同運動の先頭に立ってきた中村隆俊戸田中央医科グループ会長や関係者ら約300人が参加した。ゲストのアグネス・チャンさんは「私はタフネスと言われたほど健康に自信があったのに乳がんを経験した。自分を過信せずに検診を」と訴えた。坂本裕彦県立がんセンター院長は「検診で早期発見すれば、ならなか

ったと同じ成果」。奥野立副知事は「私も参加した5年前の第1回ライトアップに比べ、理解の広がりを実感した」と話した。戸田中央総合病院の東間紘名誉院長は「12年前、中村隆俊さんがピンクリボンを胸に1人で頑張っていた。それに神保国男戸田市長が呼応して一緒に運動を広げた。初め5%だった乳がん検診率はいま60%。1人の人の熱意が多くの人を動かした」と語った。



夜空に浮かぶピンクリボンを道行く人が見上げていた＝28日午後6時すぎ、さいたま市大宮区の大宮ソニックシティ